

第12回三番瀬評価委員会での質疑・指示事項への対応

NO	調査名	質疑・指示事項（委員名：敬称略）	対応	報告書（案） 抜粋
1	水環境モニタリング調査	クロロフィルがものすごく上がっているのに濁度が上がっていない部分というのが結構あるのですが、こちら辺はどうなっているのでしょうか。（野村）	データを再度確認のうえ、報告書等に反映させていただきました。	
2		青潮情報の記載（望月）	「補足調査：現況編（青潮の発生機構）」及び「青潮発生状況」について、報告書等に記載させていただきました。 また、20年度の青潮については、県で把握した状況を報告書に記述いたしました。	
3		クロロフィルが6月に800とか出ていることへのデータ確認（横山）	クロロフィルの値は再度、確認します。	
4	深淺測量調査	航路のほうで浚渫が入っていますが、平成14年から20年の間、どれぐらい土砂量を取り除いたか（岡安）	千葉県企業庁からデータを入手したので、報告書等に反映させていただきました。（ただし、水路、深堀部は、浚渫・覆土の影響を排除するため、水深差分を求めるための土量計算からはずしています。）	
5		土量計算において、砂の領域と泥の領域と分けて計算する。（横山）	領域分けの手法が見つからないので、手法について方法が確認できれば、総合解析で反映させる予定です。むずかしいのではないかと思います。	
6		猫実川あたりは、もしかしたらカキ礁の発達等があるかもしれないので、そういうバックグラウンドのコメントを入れる。（野村）	本調査の結果のみでは、地形変化とカキ礁の発達との関係はわからないので、総合解析において、21年度に実施している航空写真との関係で見れるかを検討したいと考えています。	
7		日の出沖の深堀り部に砂を入れているので、土量計算時に入れる。（望月）	水路、深堀部は、浚渫・覆土の影響を排除するため、水深差分を求めるための土量計算からはずしています。	
8		可動堰を開いたときに流入する土砂量の把握（望月）	現在のところ、今回の可動堰開放時の流入土量を把握することが出来ません。	
9		平面図を並べる時に15年以外のデータも一緒に並べる。（望月）	平成15年度三番瀬自然環境総合解析「三番瀬の現状」の地形変化図を引用し、報告書に記載させていただきました。	
10		干潮時に干出部分がどういう形状でどう広がっているか、あるいはカキ礁等がどうなっているかということを知りたい。（望月）	21年度に実施している航空写真を作業部会に提示できるか受託業者に確認中です。	
11		深淺測量の等深線図を付けていただきたい。（望月）	作業部会で提示する予定です。	